

こんばんは。北大生協学生委員会です！

ハロウィンが終わった途端、あちこちでクリスマスグッズが売られたり、イルミネーションが始まったりして、札幌はクリスマス一色です。

さて、今回お届けする内容は「併願私立の決め方」「出願スケジュールの立て方」です。

■□■併願私立の決め方

今年もあと1ヶ月で終わりですね。年が明けると、多くの私立大学では出願が始まります。この記事では、私が、私立併願校を選んだ際の基準を紹介します！参考になれば嬉しいです。

◆実際に入学するかどうか

まず、第一に考えたのが第1志望の国公立に落ちた場合、私立に行くかどうか、浪人するかどうかでした。もし落ちたらと、受験の時期に考えたくはなかったですが、実際落ちたときに考える余裕はないだろうと思い、この時期に判断しました。自分の気持ちと家族の意向を照らし合わせた上で、第1志望に落ちても必ず現役で大学に進学する、という方針でいこうと決めました。浪人するか、現役でどこかしの大学に行くかどうかは、金銭面を考えると、自分一人だけで決められる問題ではなかったので、私の場合は家族と何度も話し合いをしました。それぞれ色々な事情があるとは思いますが、大切なのは自分がこれからどうしたいか、です。時間も迫ってきてかなり焦る時期ではありますが、目先のやらなければいけないことだけにとらわれるのではなく、先のことも慎重に検討することをおすすめします。

◆複数のパターンを考えておく

私の場合、共通テストの点によって出願する国公立の第一志望も変える予定だったので、私立もそれに合わせて複数のパターンを考えることで、共通テスト後にスムーズに手続きができるようにしていました。パターンは以下のような感じです。

①目標点以上（80%以上）：安全校は1校にして、相応校を受ける。

②目標点を少し下回った（70%～80%）：安全校を2校にして、相応校を受ける。

③目標点をかなり下回る（70%以下）：前期の安全校と相応校だけでなく、後期や中期の私立も検討する。

※共通テストの点数の割合は2022共通テストを受ける前の目標なのであくまでも目安です。難易度によって変動するので、あくまでも参考程度にしてください。

◆レベル

上記のように、主に安全校、実力相応校の2種類を受けました。私の場合、私立の挑戦校を設定してしまうと、第一志望の国公立より難しい大学になってしまい対策が大変だと思ったので挑戦校は考えませんでした。

安全校は、毎回の模試でA判定かB判定を安定して取れている大学を目安に選びました。相応校は、C判定以上を毎回の模試で取れていて、かつ安定して点が取れる科目の配点が高い大学を目安に選びました。

◆学部

どの私立になったとしても進学する予定だったので、どこでもやりたいことがある程度できるような学部があるかどうかを重視しました。文系も理系も、私立は入学時点で学部学科が決まっているところが比較的多いと思います。パンフレットに載っている卒業論文のタイトルや教授の研究内容をみて、自分が大学で何をしたいのかを考えて学部を選ぶのがおすすめです。

◆入試方式

一般入試の他に、共通テスト利用入試、共通テスト併用入試、英語外部検定利用入試があります。配点や形式はかなりたくさんあるので自分にあったものを選ぶのがおすすめです。私の場合は、共通テスト利用入試3教科・5教科・7教科と、個別入試で出願しました。前期入試の他に中期入試と後期入試も最初は調べていました。特に共通テストは、大学や学部によって科目の配点が異なるので、注意していました。私は数学が苦手だったので、数学の配点が低いものや、換算されない方式（9教科中点数が高い順に7教科が換算されるなど）を選ぶようにしました。

◆受験会場の場所

私は、実家から離れた地域の私立大学を受けたので、なるべく泊まりがけで受験しに行かなくても良いように、サテライト会場があるかどうかを確認しました。自分の住んでいる都道府県内ではなくても、近くで受けられるように会場が複数用意されている大学もあるので確認してみてください。泊まりがけで受験するにしても、毎日長距離を移動しなくても済むように会場を検討するのがおすすめです。

◆合格発表と入学手続き締切のスケジュール

多くの私立大学は、国公立大学の入試日の前に合格発表と入学手続き締切があります。私の場合は、志望が低い順に、合格発表と入学締め切りが遅くなるようにスケジュールを組んで、なるべく入学金を支払わなくて良いようにしました。かなり考えることが多くて複雑ですが、金銭的な問題があるので家族に相談しながら決めるのがおすすめです。

以上が筆者の併願校の決め方でした。併願校の受け方は人それぞれなので家族や先生、先輩などに相談して検討しましょう。

■□■出願スケジュールの立て方

いよいよ大学入試の第一歩である出願の季節がやってきました！出願期間は大学や入試方式によって異なっていることも多く、早め早めの確認が大切です。今回は出願スケジュールの立て方の1例をご紹介します！

1、受ける大学を決める！

もう決めている人もいるかもしれませんが、まだ悩んでいる人は今回の前半記事の「併願私立の決め方」を参考にしてみてくださいはいかがでしょうか。

2、受ける大学の入試スケジュールを確認する！

私立の受験は共通テストが終わってすぐの期間に集中していることが多いです。そのため、受ける大学の入試日程が被っていたり、5日、6日連続してしまうこともあると思います。人によるとはと思いますが、長い期間入試が連続していると疲れが出てきてしまうこともあると思います。なので、ある程度日程に余裕を持たせた、自分に合った、入試スケジュールを決めましょう！

3、出願日程を確認しよう！

受けると決めた入試の「出願期間」、「方法」、「提出するもの」を各大学のホームページから確認しましょう。出願は冒頭に述べたように受験の第一歩です。しっかり出願期間を手帳にメモして、あらかじめ提出するものはできる限り用意しておきましょう。そして、出願期間が来たら早めに出願できるようにしましょう！

■□■今日の写真.....

■□■今日の問題.....

今日は混同しやすい古文単語の意味です！並べられたら間違えてしまうかも・・・ぜひこれを機に確認してみてください！

1. あらまし
2. あらまほし

3. いぶかし
4. いぶせし

5. こちたし
6. こちなし

7. なのめなり
8. なめげなり

…………▶▶前回の解答

1. つかむ、つかみとる
2. 値する
3. それぞれ、おのおの
4. 規律、鍛錬
5. 止める、終わる

次の配信は「疲れ解消法」「冬に食べたいあったかごはん」です。お楽しみに！

■□■今週のブログ……………

更新があったときのみ、書くようにお願いします！

リンクは<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/archives.html>の、一番上の記事のリンクを張ってください（このリンクじゃないです）

■□■追伸……………

大変な時期ですが、ここが踏ん張りどころです。毎日暖かくして風邪をひかないようにしてくださいね～（文・1・きなり）

併願私立合格して、勢いつけていきましょう！（水産・2・あらまる）

○バックナンバーはこちらから

<https://hokudai-coop-gi.com/mail/mail.html>

○配信停止はこちらから

%url/https:out:ouen23stop%

○北大生協学生委員会のブログはこちらから

<http://hokudaigi.blog119.fc2.com/?cat=22>

○質問等はこちらまで

北大生協学生組織委員会

jukensei_ouen@coop.hokudai.ac.jp
